

ポストコロナの 社会地域を 考える

未だに新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せないなか、社会や地域が新型コロナによって被った被害はますます拡大しつつあります。しかし、いずれ今回のコロナ感染症も、これまでの歴史的経験からみられるように、人類の英知と努力によって収束する時期がくるはずです。したがって今から、コロナ禍の現実を踏まえて、コロナ後（ポストコロナ）の社会と地域はどうあるべきかを考えるシンポジウムをおこないます。

基調講演

- 13:30~14:00 ● 今こそ「国家の安全保障」から「人間の安全保障」への転換を
藤田 安一（鳥取大学名誉教授、財政）

報告

- 14:00~14:25 ● 地域発展と自治体の役割～コロナ後の公共部門の再建を展望して～
保母 武彦（島根大学名誉教授、財政）
- 14:25~14:50 ● ポストコロナ時代の地域経済発展の展望～中国山地を事例として～
多田 憲一郎（鳥取大学教授、地域経済）
- 15:00~15:25 ● コロナ後の持続可能な都市づくりを考える
阿部 宏史（環太平洋大学副学長、岡山大学名誉教授、都市計画・国土計画）
- 15:25~15:50 ● ポストコロナにおける地域農業
小林 一（鳥取大学名誉教授、農業経済）

- 15:50~16:30 パネルディスカッション

日時

2022年

11月12日 土

13:30 ~ 16:30

会場

鳥取大学教員養成センター1F

（鳥取市湖山町南4-101、山陰本線鳥取大学前駅下車）

【お申込み】

<https://forms.gle/Q6EQoF5vpeB1d6VP6>

よりお申込みください。

【お問合せ】大谷（otani@tottori-u.ac.jp）

参加
無料



【主催】日本科学者会議中国地区・鳥取支部

【共催】とっとり地域自治研究所